



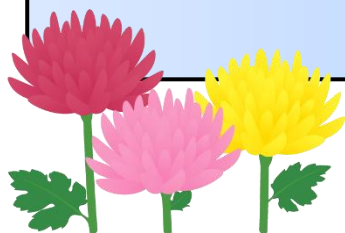
ともに伸びる馬室っ子 ～あせがきらきら馬室っ子～

令和5年10月2日

10月号

鴻巣市立馬室小学校
電話 541-0578

馬室小だより



「やれば、できる！」

～挑戦こそが楽しい～

校長 齋地 満

遅くなりましたが、8月26日の親子ふれあい作業では、多くの保護者の皆様にご参加をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、気持ちよく2学期をスタートすることができました。馬室小の校舎は古い（歴史がある）のですが、子供たちと職員が一生懸命に掃除をしてくれるので、「きれい」です。そこには、プール清掃や運動会の片付け、親子ふれあい清掃と、保護者の皆様が「学校のために」と額に汗してご協力いただいた姿が根本にあるのだと強く感じました。改めて職員一同、心より感謝申し上げます。

さて、ティモンディという元高校球児のお笑いコンビをご存じでしょうか。オレンジ色の服を着た高岸さんが、「やれば、できる！」という元気いっぱいのフレーズでブレイクをしました。昔のように、「いじる」や「ディスる」といった言葉が表すように、他者を貶（おとし）めることで笑いをとるのではなく、ポジティブに前を向くことで、明るさと元気を提供している姿や芸人と野球選手を両立し、夢に挑戦する姿を見たことから校長講話で取り上げました。

高岸さんは、名門といわれる高校の野球部で、ピッチャーとして活躍しますが、決勝で甲子園出場を逃がしてしまいます。プロ野球選手になるため、大学に進学するのですが、ケガをして夢を断念することになります。その後、チームを支える仕事を始めたことで、これまで周りの人たちにどれだけ支えられ、応援されてきたかを知り、今度は自分がみんなを応援して、恩返しをしようと考えようようになります。そして、被災している方々を励ます芸人さんの姿を見て、進む道を決めたそうです。インタビューでは、「応援は目の前にいる相手の良いところを褒めること、その人自身が気づいていない素晴らしい部分も伝えてあげたい。それが僕なりの応援なんです。」と話していました。また、「やれば、できる」という言葉は、「やれば成功できる」ではなく、「やれば、ベストを尽くすことができる。挑戦こそ楽しいんだよ。」という意味があるそうです。その後、プロ野球の始球式を務め、感極まって涙を流す姿がニュースでも話題となりました。そして、昨年度独立リーグの栃木ゴールデンブレーブスに入団しました。きっと、高岸さんは自分自身も応援し、プロ野球選手という夢に挑戦しているのでしょう。皆さんにも「やってみようかな」「がんばってみようかな」というものがあると思います。そこで、まずは、第一歩を踏み出してみませんか。そして、がんばる仲間と自分を応援し、ベストを尽くしましょう。

夢や目標への挑戦は、少しずつの積み重ねとなるため、その成果や成長を子どもたちは実感しづらい面があります。学校での学習も同じです。そこで、よくなったところや素晴らしいところを具体的に伝えたり褒めたりするとともに、適切なアドバイスや応援を贈り、「やれば、できる！」と応援していきましょう。

★ お知らせ ★

- ・11月11日（土）の土曜授業（学校公開日）は、校内音楽会となります。日程等は、後日手紙にてお知らせします。なお、持久走大会や体育授業公開（体づくり運動等）、給食試食会はありません。
- ・登校前に埼玉県内にJアラートが発令された時は、メール連絡があるまで、自宅で待機とします。